



第 29 号

R2. 3. 19

文責 倉迫

建学 144 年

臨時登校日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日

(月) から臨時休校していた五福校に、久々子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。

休校が突然決まったので、本年度の学習のまとめもあまりできずに本日の登校日となりました。未履修の部分は、次の学年に持ち越して学習を行いますので、それまでは家庭で、自分たちでできる学習を進めておいていただければありがたいです。

本日は欠席も多くなく、久しぶりに会う友だちとも笑顔で会話が進んでいたようです。

各学年では、卒業生へのお別れの言葉の収録や休み中の課題の確認、デザートタイムにほっと一息の時間を過ごしていました。

6年生は1時間目に、3月19日(木)に行う卒業式の最後の練習です。これまで、少しずつ学年で練習を進めていましたが、今日は全体を通しての初めての練習です。入場から通して練習をします。

今回は、いつもと流れも少し違っての式になります。私も参加して、卒業証書の



授与を練習してみました。目をしっかり見てやや緊張気味の表情です。起立・礼・着席のタイミングも思い出しながらやってみます。「卒業式の歌」もまだまだ覚えていないところもあります。当日は、参加者を制限しての式になりますが、今できる子どもたちの力を精一杯発揮しますので、保護者の皆様には、子どもさんの姿をしっかりと目に焼き付けていただきたいと思います。

感謝の気持ちを

右下の写真は、臨時登校日の朝の光景です。毎日、交通指導でお世話になり、クラブ活動でもご指導いただいている「高畠啓通さん」に、子どもたちから感謝の寄せ書きが贈られました。贈ったのは、風流街浪漫フェスタに出演した「チンドン隊」の子どもたちです。

子どもたちの気持ちがきっと伝わったのではないかと思います。

平成から令和へ

五福文集の冒頭に寄稿した文章を引用します。

～前略～ 今回、編集されました第32号は、まさに平成から令和へと時代が変わる記念の文集であると言えるでしょう。～中略～ 最後に、全校文集「五福」はリニューアルしても、脈々と受け継がれた五福校の歴史と伝統は、今後も大切に守り伝えていきたいと感じています。

時代は変わろうとも、変わらず大切にしていきたいものがあります。五福校の歴史と伝統はこれかも大切に受け継がれていきます。令和元年度、年度末は休校という事態になり、通常とは違う最後となりましたが、また学校に子どもたちの明るい笑顔が戻ってくることを楽しみにしています。学校便り「五福校」をお読みいただきありがとうございました。



入場から



姿勢も大事です



高畠さんへ感謝の気持ちを